

第8回 公開シンポジウム

ファッション・ビジネスでの起業：成功に求められるものは

— 新たなビジネス創造へのチャレンジを —



皆様の日頃のWEFご支援への感謝をこめて、第8回シンポジウムのご案内を申し上げます。

今回のテーマは、「ファッション・ビジネスでの起業」です。起業といっても、独立して新ビジネスを始めることだけでなく、新規に事業をスタートさせることも含めています。先回のシンポジウムでは、「テクノロジーで変容するファッション・ビジネス」をテーマに、時代が劇的に変化しているなか、顧客論理での（企業論理ではなく）新たなビジネスが次々に登場している米国の事例を紹介しました。日本でもネットやデジタル技術の拡大で、FBを変革する大きなチャンスが到来しています。

「ファッションが売れなくなった」と言われますが、最大の理由は、「売れる（生活者が欲する）ものを」、「見つけやすく、買いやすい形で」、提供できていないことにあります。生活者が求めているのは、流行を追うよりは魅力的な自分のスタイルを創ること、それにふさわしい商品が自分にフィットする形（体型やサイズ、価格）で提供されることです。今回のシンポジウムは、そんなビジネスの台頭を期待して企画しました。

講師には、DoCLASSE（ドクラッセ）創業者、林恵子社長と、メーカーズシャツ鎌倉の創業者、貞末良雄会長をお迎えします。DoCLASSEは、40代50代女性をいきいきと輝かせることを目的に、10年前にネットとカタログの通販としてスタート。現在は靴のfitfitを含む店舗を多数展開する、オムニチャネルの成功企業です。メーカーズシャツ鎌倉は、高級素材と高度な技術によるモノづくりに注力した、無駄の徹底排除のSPAです。2012年にはニューヨークに海外初出店。高級メンズストアが競い合うマディソン街の店舗で、米国ビジネスマンのファンを獲得し、ニューヨーク第2号店を昨年ウォール街近くの高級SCに開店しました。

DoCLASSEもメーカーズシャツ鎌倉も、成功のポイントは、3つ。「市場ボイドへの照準」（ニーズがあるのに企業が対応していない分野）、「値打ちある価格」（流通革新によるコストの徹底削減）、「顧客を知り、サイズやフィットで優れた対応」、です。いずれも創業者の「これはおかしい」との問題意識と、改革の熱い想いが実現したものです。最近、原価率（小売価格に対するメーカー出し値の比率）が問題になっています。日本のファッション小売業の原価率の低さが、製造業の収益圧迫だけでなく、価格に見合う商品価値を提供できない問題を生んでいます。原価率の高さも、この2社の成功の要因です。

グローバル化も含め、経済社会環境が急速に変化しているFBには、継続的イノベーション（革新）が不可欠です。顧客の視点から見た「これはおかしい」あるいは「なぜこうなの？」を改革する新たな起業・新規事業開発を進めていただくために、林氏と貞末氏のお話は、多くの示唆に富むものと考えます。

企業幹部、生活者起点の革新に取り組みたい方、起業を目ざす方を含め、多数のご参加をお待ちしています。

一般社団法人 ウィメンズ・エンパワメント・イン・ファッション代表理事 尾原 蓉子

会 場 東京ウィメンズプラザ B1「ホール」
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-67 TEL:03-5467-1711(代)
<http://www.tokyo-womens-plaza.metro.tokyo.jp>

参加費 企業会員・個人会員のWEF規定内ご参加は無料
一般・企業会員・個人会員 3,000円 / 学生(先着30名) 1,000円

ご挨拶

18:30~18:35

WEF代表理事 尾原 蓉子

基調講演

18:35~19:35

株式会社DoCLASSE 代表取締役 林 恵子氏



「DoCLASSEの起業：大人の女性向けおしゃれをオムニチャネルで」
アジア版ウォールストリートジャーナル「アジアで最も注目すべき10人の女性」に選ばれ、褒腕のヘッドハンターが「目を離せない」と語る外資系日本企業の経営を任せられる逸材。1999年に日本支社長に就任した米国大手通販アパレルブランドでは、米国から届く商品を日本人向けのサイズや品質に開発する試みを経て、経営不振にあえぐ同社にV字回復をもたらした。その頃から「40代50代は社会の原動力。洋服は一瞬で人を元気にするチカラを持っている。40代50代をいきいきと輝かせることで日本を元気にしたい!」という熱い想いを抱いていた。これがのちの株式会社DoCLASSE「起業」に繋がっている。優れた友人デザイナー、仕事で知り合った仲間を最大限に巻き込み、私財を投じて通販ブランドを立ち上げたのが今からちょうど10年前。自宅のガレージに机を並べ、わずか4席のコールセンターからはじまった創業ストーリーと、これからの「夢」についてお話いただけます。

メーカーズシャツ鎌倉株式会社 取締役会長 貞末 良雄氏



「最高品質の日本製シャツを世界に」
「鎌倉シャツ」の愛称で親しまれ、日本全国で25店舗、ニューヨークで2店舗、台湾で1店舗（フランチャイズ）を展開するメーカーズシャツ鎌倉は、1993年創業。ヴァンチャケット時代に石津謙介氏からメンズウェアの基本を徹底的に学んだ貞末良雄氏の創業の想いは、日本のビジネスマンが世界で胸を張れるシャツの企画販売でした。その実現に、縫製は世界最高レベルの日本の工場を起用、高級シャツの質にこだわりながら、徹底した流通システムの見直しと中間コストの削減により、ほとんどのメンズ、レディースシャツを均一価格の5000円で販売。セールのない価格の信頼性を取り戻すビジネスモデルを確立しています。その経緯、基本理念の「メーカー・顧客・自社の Win-Win-Win」について、また日本が世界で成功するための条件などについて、お話いただけます。

パネルディスカッション

19:40~20:40

■パネラー（五十音順）

貞末 良雄氏
林 恵子氏

■コーディネーター

ファッション・ジャーナリスト/WEF理事
生駒 芳子氏



海外提携雑誌「VOGUE」「ELLE」「marie claire」編集長時代の、長年の豊富な海外取材でコレクションやブランド、ファッション・ビジネス、ライフスタイルなどに精通。公のファッション団体や教育関連のプロデューサーなどの要職も多く、ブランドやプロジェクト、イベントなどの立ち上げ成功のため、サポートやアドバイスなども積極的に行っています。多様な経験から起業についての具体的な提言をいただきます。

懇親会（別会場：アンカフェ）

21:00~22:30

希望者は、参加者と講師陣のネットワーキング懇親会へ（会費：3,000円）

PROFILE

メーカーズシャツ鎌倉株式会社 取締役会長
貞末 良雄氏

1940年山口県生まれ。千葉工業大学卒。66年ヴァンチャケット入社。営業/販売促進/物流/商品企画を歴任するも78年倒産により退社。数社のアパレル会社を経て1993年鎌倉市でメーカーズシャツ鎌倉を創業。“鎌倉シャツ”の愛称で親しまれ、全国で25店舗を展開。高級シャツの「質」にこだわり、世界最高レベルの国内工場で縫製、流通システムの徹底の見直しや中間コスト削減により、殆どのメンズ/レディースシャツを5,000円の均一価格で販売。セールを行わず、価格の信頼性を取り戻すビジネスモデルを確立した。2012年 NY マディソンAve.に「Kamakura Shirts」を海外初出店、2015年 NY ロウアー・マンハッタンの高級商業モール「Brookfield Place」に2店舗目をオープン。また本年7月にはアジア初の台湾店(フランチャイズ)をオープンした。日本人の物作りの技術を世界に証明すべく挑戦している。

株式会社DoCLASSE 代表取締役
林 恵子氏

津田塾大学学芸部英文学科卒業。オレゴン州立大学心理学部卒業。米国にて日系企業、広告代理店に勤務する。1985年帰国後、外資系広告代理店、ペットケア商品関連会社マーケティングディレクター、玩具会社マーケティング担当副社長などの経験を経て、99年に米国大手通販アパレルブランドのランズエンド日本支社長に就任。経営不振の中、組織強化やマーケティング戦略の抜本的な建て直しを図り、2001年にはV字回復に導く。2007年、株式会社DoCLASSEを設立。2011年、株式会社fitfitを設立。レディース・メンズファッション、コンフォートシューズを中心としたカタログ通販事業を柱とし、「日本の40代、50代を元気に輝かせる」をコンセプトに、SPA企業の代表取締役として経営を執行中。2005年、アジア版ウォールストリートジャーナル「アジアで最も注目すべき10人の女性」の一人に選ばれる。

ファッション・ジャーナリスト/WEF理事
生駒 芳子氏

ファッション・ジャーナリスト、アート・プロデューサー、日本遺産プロデューサー、一般社団法人FUTURADITION WAO代表理事。
VOGUE、ELLEを経て、マリ・クレールの編集長となる。2008年に独立後は、編集長経験を生かして、ファッション、アートから社会貢献、エシカル、クール・ジャパンまで、編集・執筆、展覧会やプロジェクトの立ち上げなどに携わる。主な活動は、産業構造審議会委員・未来開発部会委員、カルチャーヴィジョンジャパンアドバイザー、国連WFP(国際連合世界食糧計画)顧問、一般財団法人Next Wisdom Foundation 評議員、デザインアソシエーションNPO理事、JFW(ジャパンファッションワーク)委員など。杉野服飾大学大学院にて講師も務める。



一般社団法人 ウィメンズ・エンパワメント・イン・ファッション (呼称:プロジェクトWEF)とは?

ファッション関連分野で働く女性の活躍支援団体です。設立の目的は、主要ポストおよび商品企画やMD分野の女性リーダーを増やすとともに、女性個人の成長・成功を助け、企業・産業の成長発展に繋げる事にあります。女性が主体性を持ってキャリアすなわち人生を生きるパワーを醸成すること、また、ロールモデルの開発と表出にも注力します。

ミッション・ステイトメント

女性の
エンパワメントで、
ファッションと社会を
変える

女性が
仕事を通じて
自己実現し、
幸せを追求する

女性が
子育てをしながらも、
活躍が出来る
社会をつくる

■発起人(敬称略、五十音順)

青井 浩/青木 拓憲/新井 良亮/石川 康晴/大西 洋/岡本 均/菊池 眞澄/北村 みどり/肥塚 見春/佐々木 進/重松 理/設楽 洋/高梨 利雄/二橋 千裕/林 恵子/廣内 武/福田 三千男/前澤 友作/牧山 浩三/松井 忠三/三宅 正彦/村田 紀敏/森 英恵/森 文夫/柳井 正

■出捐企業・個人 ※企業名は出捐時名称(敬称略、五十音順) 9月15日現在

青木 拓憲/旭化成せんい(株)/(株)アダストリアホールディングス/(株)アトレ/伊藤忠商事(株)/(株)オンワードホールディングス/(株)クロスカンパニー/クロスプラス(株)/重松 理/(株)ジュン/(株)スタートトゥデイ/(株)セブン&アイ・ホールディングス/(株)大丸松坂屋百貨店/(株)高島屋/(株)TSIホールディングス/(株)東急百貨店/(株)東京ソワール/(株)トゥモローランド/(株)DoCLASSE/東レ(株)/(株)バルコ/(株)ビームス/(株)ベイクルーズ/(株)丸井グループ/(株)三越伊勢丹ホールディングス/八木通商(株)/(株)ユニクロ/(株)良品計画/(株)ルミネ/(株)ワールド/YKK(株)

■企業会員(敬称略:五十音順) 9月15日現在

(株)AOKIホールディングス/旭化成(株)/(株)アダストリア/(株)アトレ/伊藤忠商事(株)/(株)エイ・ネット/(株)オンワードホールディングス/ギャップジャパン(株)/クロスプラス(株)/(株)ケイト・スペード ジャパン/(株)シッパス/(株)ジュン/(株)スタートトゥデイ/(株)ストライプインターナショナル/(株)セブン&アイ・ホールディングス/(株)大丸松坂屋百貨店/(株)高島屋/(株)TSIホールディングス/(株)東急百貨店/(株)東京ソワール/(株)トゥモローランド/東レ・ティプロモード(株)/(株)DoCLASSE/日華化学(株)/日鉄住金物産(株)/(株)阪急阪神百貨店/(株)ピーチ・ジョン/(株)ビームス/(株)ファーストリテイリング/(株)ファミリア/(株)ベイクルーズ/(株)ポーラ/(株)丸井グループ/(株)三越伊勢丹ホールディングス/八木通商(株)/(株)やまと/(株)ユナイテッドアローズ/(株)良品計画/(株)ルック/(株)ルミネ/YKK(株)

■設立委員会メンバー(五十音順)

尾原 蓉子/堀田 瑞枝/生駒 芳子/堀 紀子/寺崎 志野/松浦 祥子/信田 阿芸子/山田 晶子/横森 美奈子

シンポジウム参加申込方法

E-mail または FAX にてお申し込みください。下記ホームページからも申し込み出来ます。

FAXの場合は、下の空欄のすべてにご記入いただき、

E-mailの場合は、同項目をすべて入力してお申し込みください。

折り返し、受付確認のご連絡をいたします。有料の方は振込先をご連絡いたします。

FAX 03-6730-1742

E-mail info@wef-japan.org

締切

11/2
水

フリガナ		
お名前	有料 (一般・企業会員・個人会員・学生) 無料 (企業会員・個人会員) いずれかを ○で囲んでください	
企業名	部署・役職	
住所 〒		
電話番号 ※携帯可	メールアドレス	懇親会参加希望 <input type="checkbox"/>